

# Contest

## 大きな舞台への挑戦

### 第40回 HEP FIVE オリジナルファッションコンテスト

アパレル造形デザイン科 3 年の出村さんが「第40回 HEP FIVE オリジナルファッションコンテスト」に挑戦し、一次審査の書類審査を見事通過！その後、独創的な生地を手作業で編み上げ、衣装を完成させ、10 月中旬に大阪で行われた最終ファッションショー審査に挑みました。審査を終えた出村さんにコンテストの感想を聞きました。

出村茉莉子さん アパレル造形デザイン科3年(社会人)

今回グランプリは獲れなかったですが、ファイナリストに選ばれ大変嬉しく、とてもいい経験ができたと思います。作品のコンセプトは「愛するということ」。私がいつも考えていて、頭から離れないようなことに決めました。服の製作期間が長い為、根気が続くコンセプトにしないと、すぐに自分の意思がブレてしまいがち、作品に影響すると考えたからです。また物事には必ず、表と裏があることを表現して、ポジティブで深みのあるコンセプトにするよう心がけています。制作に協力してくれた学内の友人にも、それについて十分に説明した状態で制作に取り掛かってもらいました。コンテストの舞台裏を経験しファイナリストとして舞台に立てたことは、私の人生の大きな経験になりました。服を選んで、買って、着る、ということは自分がどういふ人になりたいか、という心の表れです。今後も個人のアイデンティティをくすぐるような、感覚に作用する、考えるきっかけを与えるような服を作り続けたいと思います。



## COLLABO

### 金沢文化服装学院 × 金沢フォーラス × 靴下屋

本校の学生の独自の発想力と、靴下屋が持つ技術によって開発された新商品を売り場に展開することで、靴下屋の新規顧客開拓、金沢フォーラスへの来客増等を目的とする、学生のオリジナルデザインがプリントされた靴下のコンテストが開催されました。この企画にチャレンジしたのはなんと、これまでコンテスト未経験の1年生です！オリジナルデザインを考えるにあたり、ファッションクリエイティブ専攻科の卒業生：川島島紗さん（金沢学院高等学校出身）にも協力を仰ぎ、デザイン面に対するアドバイスや評価をして頂きました。それによって更にブラッシュアップされたデザインの中から、1次審査として、靴下屋本部と金沢文化服装学院教職員の投票により、6 デザインを選抜。続く最

終審査は金沢フォーラス特設会場にて、2 週間に渡り、一般のお客様による人気投票形式で執り行われました。予想以上に多くの方が投票にご協力下さり、大接戦の末選ばれたのが写真にある3 デザイン。これら3 デザインは実際に靴下にプリントされ、靴下屋金沢フォーラス店限定商品として店頭に並びました。当初、在庫がなくなり次第販売終了の予定でしたが、発売直後に完売寸前になってしまった商品もあり、なんと増産決定！大変ご好評を頂いています。靴下が商品化されたデザイナーからは「自分がデザインした柄が、実際に靴下にプリントされ、商品となり、しかも販売されるという、プロと同じ経験ができ、大きな自信へと繋がりました」と、語ってくれました。



## OTONOKO

### ファッションショーに出演

金沢出身の音楽プロデューサー中田ヤスタカ氏が手がける音楽フェス「OTONOKO」が12月2日(土)石川県産業展示館にて行われ、セカンドステージで開催されるファッションショーに金沢文化服装学院が衣装提供及びモデルとして参加しました。今回のヘア&メイクは石川県美容専門学校が担当し、いつもとは違う華やかさがとても印象的でした。昨年は約 6,500 人を動員したフェス、今年もたくさんのお客様が会場に溢れ、DJアクトの合間のショーでしたが多くの方に見ていただくことができました。



## OPEN CAMPUS

### 冬のオープンキャンパス

冬のオープンキャンパスでは体験入学会と学校説明会を今年と来年併せて 8 回開催予定！体験入学会では人気のTシャツやスウェットのアイロンプリント体験など各種アイテム制作体験の6つのコースから選んで体験実習！学校説明会は1日2回(午前/午後)開催で、学科や就職についてとことん理解できる内容です。詳しくはウェブサイトをご覧ください。みなさんのご参加、心よりお待ちしております！

12/9 (土)	3/21 (水)	12/17 (日)	1/20 (土)	1/21 (日)	2/17 (土)	2/18 (日)	3/10 (土)
体験入学会				学校説明会			

金沢文化服装学院の「キャンパスライフ」最新情報

# KANABUN FRESH TIMES

2018  
winter

夢を追いかける学生の  
ワールドワイドに注目した特集号

## KIMONO × デニム

11/3(金・祝)「いしかわファッションフェスタ2017」が金沢フォーラスで行われ、ファッションビジネス科2年シヨップスタイリストコースの学生がファッションショーを行いました。この取り組みはファッションビジネス科シヨップスタイリストコースのメンバーが「スタイリスト

ワーク」という授業の中で春から行ってきた「着物」をテーマにしたスタイリングです。授業の担当は大手女性誌などのスタイリングも手がけるプロのスタイリスト南拓子さん。前期は「KIMONO×日常」、後期はさらに発展させた「KIMONO×デニム」というテーマで各学生が各々スタイリングを組み、今回のファッションショーでのお披露目となりました。また今回着物では丸六株式会社、デニムでは株式会社エドウィンにご協力いただいております。



沖南海さん ファッションビジネス科2年(富山県立高岡工業高等学校出身) 着物とデニムという異なる素材や、使われる場などが全く異なったアイテムを組み合わせること。また、私たちが制作した衣装をプロモデルに着てもらふこと。そして、告知のためにラジオ出演すること。など、どれも初めての体験でした！ショーを終えた今、大きな達成感が得られたのと同時に、多くの方々のサポートがあったからこそショーを成功させられたのだという感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を、2月に控えた卒業展示・卒業ショー(BFR)に活かし、精一杯取り組んで行きたいと思います！



スタイリストの南さん(中央)とシヨップスタイリストコースの学生たち



# Creator project

## 株式会社ナカノアパレル × 金沢文化服装学院 産学連携事業『クリエイター養成プロジェクト』

より実践的な内容のカリキュラムを構築・展開すべく、抜群の企画力と生産体制を誇る、国内屈指のアパレルメーカー「株式会社ナカノアパレル」との産学連携事業により、アパレル造形デザイン科1・2年生から選抜された9名・計4ブランドの企画の模擬商談を行いました。学生たちはプロのデザイナー・パタンナーとして、同社営業スタッフの方々に、デザイン、生地、縫製仕様などを説明し、逆に、現場視点から仕様や副資材の提案・変更提案を受けます。実際の仕事の感覚を学生のうちに経験出来るという超本格的なプログラムです。



### 合同ブランドとしての活動

#### 2年生有志によるブランド「AKECHI」 縫製発注とコレクション展示会に至るまで

アパレル造形デザイン科2年生の明地さん、河村さん、森さんの3人によるブランド「AKECHI」。様々な方々の手を借りながらも、1つのコレクションを制作するまでに至りました。

10月末には、新校舎のあるタテマチストリートにあるカフェ「バーStedy.」にて、また11月には金沢フォーラス6階特設ステージで開催された一般社団法人いしかわファッション協会主催「いしかわファッションフェスタ2017」の、計2回に渡り2018S/S(春夏コレクション)の展示会を開催しました。



AKECHIの服には今回の「クリエイター養成プロジェクト」を通して、株式会社ナカノアパレルに縫製を依頼し、プロの手によって完成された作品が含まれています。



#### 河村比奈さん アパレル造形デザイン科2年(遊学館高等学校出身)

私は今回、縫製工場への製造依頼の具体的な流れについて知りたくて参加しました。中野副社長はじめスタッフの方々に対し行った、実際の商談を想定したデザインプレゼンテーションではプロの方々のモノづくりに関する知識の多さに大変驚きました。仕事をする上でデザイン画、仕様書から情報を瞬時に読み取る能力がいかに重要か身を以て知りました。また、縫製技術やアイロンの当て方一つが仕上がりに大きく影響することを改めて実感しました。物作りに対する想いがさらに強くなる、良い経験となりました。

#### 明地恵大さん アパレル造形デザイン科2年(石川県立金沢泉丘高等学校出身)

当プロジェクトに参加することで縫製担当者さんとのやり取りを経験でき、服作りをさらに身近なこととして考えられる様になりました。縫製を「頼む」感覚ではなく、縫製担当者の方と互いに提案し合いながら、共に服を「作り上げていく」感覚で、各工程に掛かる時間やコストの効率化を図れたのがとても勉強になりました。こうした経験はファッションを「好きな事」から「仕事」にしていけるために必要であり、夢を現実と近づける一歩になると感じました。

#### 森徳高さん アパレル造形デザイン科2年(石川県立大聖寺実業高等学校出身)

私たちが3人で活動するに至った理由の1つに「工場さんに縫製を依頼したい」という思いがあったので、このような機会を与えてくださった学校とナカノアパレルさんに感謝の気持ちでいっぱいです。今までは服作りをデザインから縫製まで全て1人でやっていたので、他の人に縫製を依頼するということがとても新鮮であり、難しいと感じていました。第一線で働いておられるプロの方々から意見やアドバイスを頂きながら一緒に服作りが出来たこと、通常の授業以上に実践的な経験が出来たこと、これら実際の社会人の感覚を体験出来たことは本当に大きな学びとなりました。この学びを今後の制作や活動に活かして頑張ります！

### 今回、全てが初めて尽くだった1年生

アパレル造形デザイン科1年生も、授業を通して各自が立ち上げた「オリジナルブランド」の縫製を依頼。プランニングはもちろん、外部とのやり取りまで全てが初めての体験となりました。参加した1年生6人のうち、以下3人に、模擬商談後の感想を聞いてみました。

#### 林みはるさん アパレル造形デザイン科1年(石川県立工業高等学校出身)

私は今回の取り組みで、とにかく感動し放してました！ナカノアパレルさんを訪問しサンプルを拝見した際、こんなに綺麗な縫製があるのかと感動しました。また、デザインプレゼンテーションでは細かな説明や、「こんな工夫も出来そうですよ」という提案を頂きました。全てが刺激的で納得と発見がギュッと詰まった時間だったように思います。私たちが発注した商品の1stサンプルが届いた時は更に感動しました！

#### 木村光雄さん アパレル造形デザイン科1年(社会人)

私は自身のブランド活動をしたいと思いこの企画に参加しました。実際にナカノアパレルさんの事務所へ伺い、担当の方と企画の説明や打ち合わせなどを行いました。プロの方から様々な指摘やアドバイスをもらい、気づかなかった点や新たな発見があり大変勉強になりました。またナカノアパレルさんの縫製技術を実際に見て感動しました。そして何よりナカノアパレルさんの熱意が一番刺激をもらいました。私も熱意と追求心を持ってのづくりと向き合いたいと思いました。

#### 堀内志帆さん アパレル造形デザイン科1年(石川県立金沢泉丘高等学校出身)

私にとってこのプロジェクトはブランド活動開始のきっかけでした。実際のプロジェクトを通して、デザインから製造依頼の工程までしっかり学ぶことが出来ました。それだけではなく、ブランドを作り上げていく苦労や1つの服を作り上げるまでの過程がどれだけ大変でどれだけ面白いかを、肌で感じる事が出来ました。今回の機会を通して学んだ多くのことは今後のブランド活動、その他の制作活動に活かしていきたいです。

# Topics

## 実践的な取り組みと現場を学べるカリキュラム

学外から様々なコラボレーションの要請や依頼を頂く機会が増えています。本校学生はそうした多くの方々と交流や協働作業を通して、人間的にも技術的にもたくさんの方の事を学んでいます。

### 「服を売らない服屋」がどうやったらできるか

The measuring order salon代表 藤田さん特別講義

金沢市泉にあるスーツのオーダーサロン、「The measuring order salon」代表の藤田さんをお招きし、これまでの社会人経験から抽出された複数のキーワードを基に、起業やお客様との関係性構築などについて、分かり易いエピソードを用いお話し頂きました。出て来たキーワードは皆さんにとっては聞き慣れない言葉かも知れませんが、PDCAサイクル、ランチェスター戦略、準備9割商談1割など。社会人スタートとなった、国内ジーンズメーカー入社時に学んだことから、2度の起業を果たし、今に至るまでの貴重なお話をお聞きすることが出来、学生たち大変感動して

いました。その他にも、お店をやっていく上で大切なもの、人脈を広げることの重要性、単なる「服好き」からアパレル業界人にステップアップするためには経済を知ることが重要であること、自分が得意なことを武器を明確にしておくこと、ブランド戦略とプランニング戦略は違うものであること、などなど…幅広くお話しして頂きました。藤田さんのテーマ「服を売らない服屋」がどうやったらできるか?という事を様々なエピソードからお話しいただき、興味の湧く話題ばかりでとても為になる講義でした。藤田さん、有難うございました！



### スタイリングを披露

#### 三井アウトレtpark北陸小矢部 × 金沢文化服装学院

12月3日(日)に三井アウトレtpark北陸小矢部にて、トータルコーディネーター池端忍さんと金沢文化服装学院の学生がコーディネートした、この冬の最新トレンドアイテムを紹介するファッションショーが開催されました！金沢文化服装学院は昨年より三井アウトレtpark北陸小矢部さんと協働しファッションショーを開催しています。学生は主に一般モデルの衣装の選定・コーディネートを担当。ただ似合うから、かわいいからと感覚的に選ぶのではなく、トレンドをおさえ、なおかつ見る人に与える印象をも考慮するなど、理論的に1点1点コーディネートを組んでいきました！毎回、普段授業で学んできたスタイリング術を実践的に行うことのできる大変貴重な機会となっています。



### 夜のファッションショー

#### 豎町カラーロード

10月7日(土)～9日(月・祝)に新校舎のあるタテマチストリートで「金澤・豎町 Color Load」が開催されました。世界的デジタルアーティスト長谷川氏が手掛ける「デジタル掛け軸(プロジェクションアート)」の作品により、タテマチストリート430mが色とりどりに染まった3日間。その中で本校学生によるタテマチストリートをランウェイとしたファッションショーが行われました。テーマは「Canvas」。真っ白な衣装をキャンバスに見立てて、そこにデジタルアートが映し出される幻想的な姿に、観客の皆さまから多くの賞賛の声をいただきました！



### 業界第一線に触れる

#### 1年生関東研修報告

秋の訪れを感じ始めた10月半ば、ファッションへの興味があります深まったカナブン1年生は待ちに待った関東研修へ出発。東京へ着くや否や、早速研修スタート。まずは、石川県が誇る、国内No.1メーカーNo.1のアイネックス東京オフィスを訪れ、ショールームで数えきれないサンプルや貴重な柄見本などを拝見させて頂きました。また、石川県出身の仙田社長から、ファッションへの興味が行動力を生み出し、そういった強い気持ちが自分を奮い立たせ、現在の規模まで会社を成長させてきたという熱い講話を頂きました。その他2件のプレス会社やア

パレルメーカー、服装資料館を訪れ、ファッション業界の内側をじっくりと見学。アパレルにはいろんな業務があることを学びました。研修の実施期間が、アマゾンファッションウィーク開催期間という事もあり、昼間は展示会、夜はファッションショー、コンテストの発表など様々なイベントも満喫。デザイナーさんと直接意見交換ができた、ブランドの世界観を体感したりと普段では到底できない体験ができました。この3日間の研修で、アパレル業界に携わる沢山の方からエールを頂き、何か将来の夢へ進むヒントが得られたのではと思います。



### 店舗経営を学ぶ特別講義

#### ヴィンテージショップ「corne」 松田さん夫妻

金沢市有松にあるフランス、イギリス、ベルギー、ドイツのインポート雑貨や、革小物などを展開するヴィンテージショップ「corne(コルネ)」のオーナー松田ご夫妻をお招きし、ファッションビジネス科シヨップマネジメントコースを対象に、シヨップの開業、顧客との関係性構築、具体的な仕入れなどについてお話し頂きました。シヨップネームの由来や、事業計画書作成時の物事の考え方、進め方などのお話から始まり、徐々に具体的な実践的なお話しへと、大変分かりやすく講義していただきました。学生の独立・開業に役立つ情報が凝縮され、グッと現実と近づく、特別な時間となりました。ありがとうございました！



### 3校合同ファッションショー

#### 学びフェスタ2017

9月30日(土)に、いしかわ四校記念公園で開催された学びフェスタ。学びフェスタとは石川県内の専門学校・各種学校が一同に集い、様々な体験やステージパフォーマンスを通じて専門的な職業理解を深めるイベントです。本校の体験ブースではファッションデザイナーによる「簡単デザイン講習」を開催。たくさんの方に参加いただきました！ステージパフォーマンスでは、金沢文化服装学院 × 石川県美容専門学校 × 金沢科学技術専門学校による3校合同ファッションショーを行いました。アパレル造形デザイン科2・3年生が石川県・福井県の生地を使用して制作した衣装に加え、モデル・スタイリングを担当しました。この様な大きな舞台でファッションショーを行える事は学生にとって良い経験になりました。今後も本校が行うファッションショーを見守り楽しみに！



ヘアメイク=石川県美容専門学校  
撮影・動画編集=金沢科学技術専門学校 映像音響学科  
産学連携企業=株式会社太田、M・Mミチスタイル、中嶋職業場